

1. 件 名：訓練のあり方及び規制の関与の検討に係る施行について

2. 日 時：令和5年3月27日 13:30～14:30

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

川崎企画調整官、澤村防災専門官、反町専門職、川本専門職、

宮田専門職

実用炉監視部門

菊川管理官補佐

専門検査部門

岡村専門検査官

核セキュリティ部門

廣瀬管理官補佐

玄海原子力規制事務所

渡邊防災専門官

北陸電力株式会社

原子力本部 原子力部 原子力防災チーム 副課長

中国電力株式会社

電源事業本部 原子力品質保証グループ 担当

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ グループ長 他6名

5. 要 旨

九州電力株式会社から、令和5年2月28日に実施した同社玄海原子力発電所の原子力事業者防災訓練で試行した「緊急時対応組織の実効性向上に係る評価指標案」について、資料1に基づきその対応結果の説明があった。

原子力規制庁から、原子力規制庁、訓練実施事業者及び第三者による評価結果が同じような評価となるのが理想であるため、引き続き事業者の指標案への理解が深まるよう臨んで参りたい旨申し伝えた。

6. その他

配布資料：

資料1 緊急時対応組織の実効性向上に係る評価指標案における玄海

時の対応結果（案）（2023年3月27日 九州電力株式会社）